

## 山下俊一

(長崎大学大学院国際健康開発研究科教授・福島県放射線健康リスク管理アドバイザー)

①:「一般の、私達 20 キロ、30 キロ離れた人たちの放射線の被曝は何が問題かというと、内部被曝であります。」「どこかで線引きをしないといけない。その線引きは、安全だと言えるから線引きをするわけです。20 キロを超えれば、放射性降下物が降り注いだとしても、少々汚染しても全く健康に影響がないから、20 キロあるいは 30 キロ屋内退避という今、令が出されています。」

### ■■外部被曝の無視、少々汚染しても全く健康に影響がない？！

②:「1 ミリシーベルトの放射線を浴びると皆様方の細胞の遺伝子の 1 個に傷が付きます。簡単!100 ミリシーベルト浴びると 100 個傷が付きます。これもわかる。じゃあ、浴びた線量に応じて傷が増える。これもわかる、みんな一様に遺伝子に傷が付きます。しかし、我々は生きています。生きてる細胞はその遺伝子の傷を治します。いいですか。1 ミリシーベルト浴びた。でも翌日には治ってる。これが人間の身体です。100 ミリシーベルト浴びた。99 個うまく治した。でも 1 個間違っただけかもしれない。この細胞が何十年も経って増えてきて、ガンの芽になるということを怖がって、今皆さんが議論していることを健康影響というふうに話をします。まさにこれは確率論です。事実は 1 ミリシーベルト浴びると 1 個の遺伝子に傷が付く、100 ミリシーベルト浴びると 100 個付く。1 回にですよ。じゃあ、今問題になっている10 マイクロシーベルト、50 マイクロシーベルトという値は、実は傷が付いたか付かないかわからん。付かんのです。ここがミソです。」

### ■■ 1 ミリシーベルト浴びると 1 個の遺伝子に傷が付くなんて初めて聞いた！〈専門家〉がこんないい加減なこと言っているの??

③:「この福島市は 20 マイクロシーベルト/h というふうな値がしばらく続いたそうです。」「24 倍すると 1 日約 480 マイクロシーベルトがそこにあります。しかし、屋内にいると、約 1/10 の 48 マイクロシーベルトにしかありません。1 日の量は。身体の中に入っ

ていくのは1/10です。つまり1/100しか身体のなかに入ってきません。」

■■こんなでたらめ、論外です！屋内のほうがある程度数値が低いとは言えますが、1/10とはいえません。まして体内被曝が1/100は全くのウソです。体内被曝のほう被曝量が多くなる可能性もあります。

④：「我々が少なくとも民主主義国家として信じなくてはいけないのは、国の方針であり、国から出る情報です。」

■■すべて国の言うことを信じなさいって、民主主義??

⑤：「次の世代を背負う子どもたちに対し、私たちは責任があります。だから、すべての放射線安全防護基準は、赤ちゃんの被曝線量を基準につくられています。」「大人は二十歳を過ぎると放射線の感受性はほとんどありません。もう限りなくゼロです。大人は放射線に対して感受性がほとんどないということをまず覚えてください。そのくせ一番心配するのは大人。これは間違いです。特に男は大間違い。」

(3月21日、福島市での講演より)

■■すべての放射線安全防護基準が赤ちゃんの被曝線量を基準につくられてるなんて真っ赤な嘘！！

⑥：「微量でも被ばくすれば危ないというのは、間違いです。」「1度に100 mSv以上の放射線を浴びるとがんになる確率が少し増えますが、これを50mSvまでに抑えれば大丈夫と言われています。原発の作業員の安全被ばく制限が年間に50mSvに押さえてあるのもより安全域を考えてのことです。放射線を被ばくをして一般のひとが恐れるのは将来がんになるかもしれないということです。そこで、もし仮に100人の人が一度に100mSvを浴びると、がんになる人が一生涯のうちに一人か二人増えます(日本人の三人に一人はがんで亡くなります)。ですから、現状ではがんになる人が目に見えて増えるというようなことはあり得ません。」

■■微量でも被ばくすれば危ないと考えるのが常識です。御用学者か否かを分ける指標で

す。

⑦：「原発から10kmから20kmの圏内にいて避難した人は、放射線量で1mSv程度浴びたかもしれないが、健康に与える影響は、数 $\mu$ Svも100mSvも変わりがない、すなわちがんの増加頻度に差がないのです。」

(3月22日、外国人記者クラブ)

■■ようするに100mSvまでは健康に問題ないと言っているのだが、論理がむちゃくちゃでよくわからない。

⑧：「これから、みなさんが病気になるのを調べるには福島県民みなさんの協力が必要です」

「10年後の放射線による影響は福島県民全員の協力の上で、疫学調査をしなければなりません。だからここで影響については言えない」

■■福島県民にモルモット=実験材料になれと言っている。〈本音〉が出たというべきか。

⑨：「年間20という国の指針が出たんだから、国の指針に従うのは国民の義務です」

「100mSv以下では放射能の影響は科学的に証明されておらず結果は何十年後にならなければわからない。だから自分は福島の人達に安心してもらうように心配ありませんと言いつづけてきた」

「100mSv以上一度に浴びなければ発がん性リスクは確認されてない」

「平時に定めた1ミリを20ミリに上げた事が容認できない方はそこから避難するしかない。」  
「私は安全を皆さんに言ってない。安心を語っている」

(5月3日、二本松市)

■■要するに、国の指針に従って、「安心」させるために心配ありませんと言いつづけてきた。「安全」とは言ってない。結果は何十年後にならなければわからない、という無責任発言！